

相馬福島道路(霊山^{りょうせん}～福島)
こおりこうかきょう
桑折高架橋(仮称)の橋を設置する現場見学会のお知らせ

相馬福島道路 霊山～福島は、平成32年度(一部区間を除く)の開通に向けて工事を進めています。

この度、相馬福島道路で最長(橋長1,218m)となる「桑折高架橋(仮称)」で、桑折町立睦合小学校の児童ならびに地域の方々をお招きして、橋を設置する現場見学会を開催します。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト(復興支援道路)として位置づけられています。


また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙3参照】

記

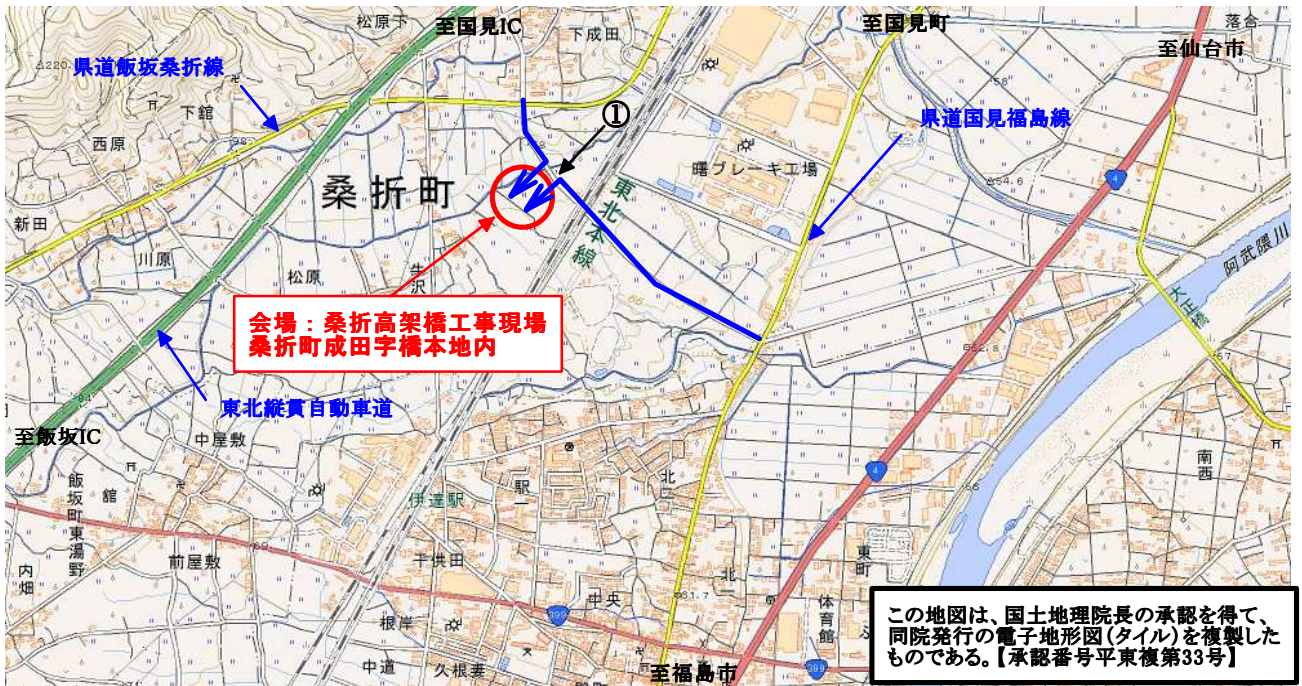
- 日時 : 平成30年2月16日(金) 9:30～10:30
※見学会終了後10:30～12:00まで設営テントで橋げたの製作状況や設置状況の映像を流しておりますので一般の方も映像にて見学できます。
- 場所 : 桑折町成田字橋本地内【別紙1参照】
(桑折高架橋 P18 橋脚付近)
- 主催 : 福島河川国道事務所、桑折町
- 内容 : 見学会(高力ボルト本締め体験、高所作業車乗車体験、橋桁設置見学、記念撮影など)【別紙2参照】
※高力ボルト本締め、高所作業車乗車の両体験は小学生を対象とします。
※雪、雨天時は、高力ボルト本締め、高所作業車乗車の両体験は中止となります。
※強風時場合は、橋桁の設置が中止となります。
- 桑折高架橋(仮称)の概要
橋梁形式 : 19径間鋼箱桁
橋長 : 1,218m
幅員 : 12m
車線数 : 2車線
架設工法 : トラッククレーン・ベント架設工法(JR部分は、送り出し工法)
施工者 : 宮地エンジニアリング株式会社

【発表記者会:福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

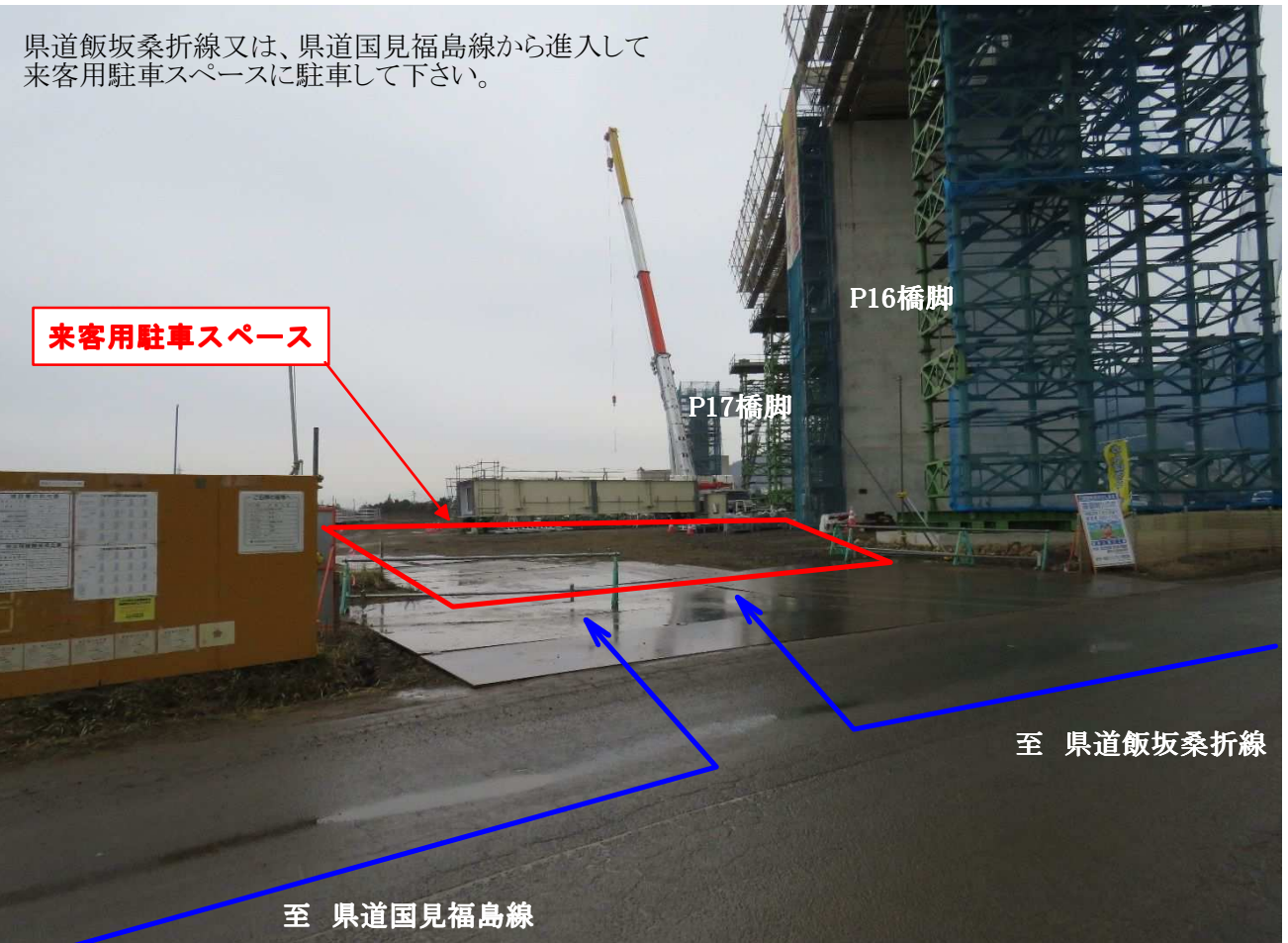
問い合わせ先

《事業に関すること》	《見学会に関すること》
 <p>国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話 024-546-4331(代)</p>	<p>桑折町 まちづくり推進課 電話 024-582-2124</p>
<p>副所長 佐野 智樹(内線205) 工務第二課長 松本 章(内線411)</p>	<p>課長 鈴木 清志</p>

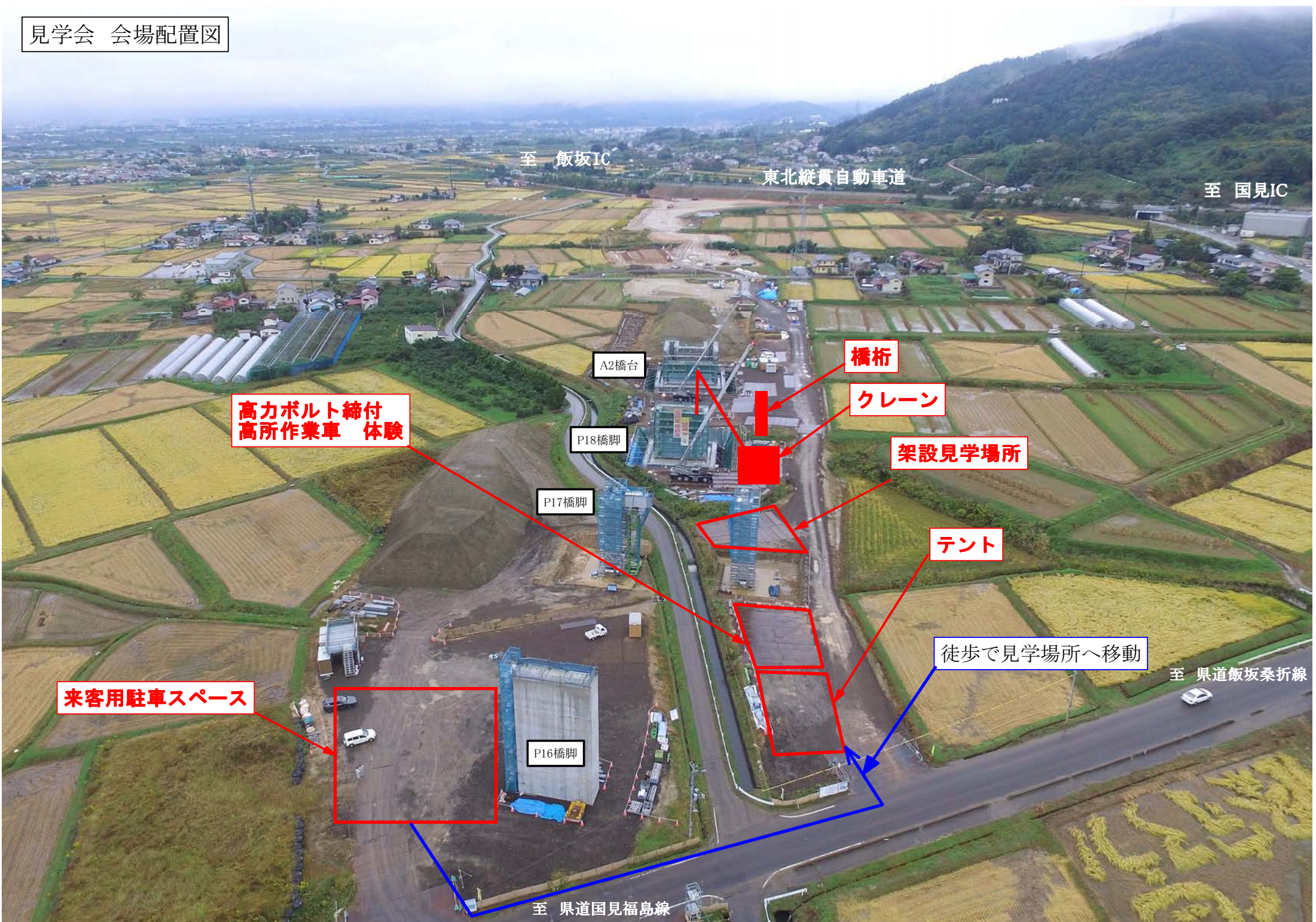
見学会 会場位置図



①出入口



見学会 会場配置図



至 飯坂IC

東北縦貫自動車道

至 国見IC

高力ボルト締付
高所作業車 体験

A2橋台

橋桁

クレーン

架設見学場所

P18橋脚

P17橋脚

テント

来客用駐車スペース

徒歩で見学場所へ移動

至 県道飯坂桑折線

P16橋脚

至 県道国見福島線

イメージ

① 桁の架設状況見学



② 高力ボルト本締め体験



イメージ

③ 高所作業車体験



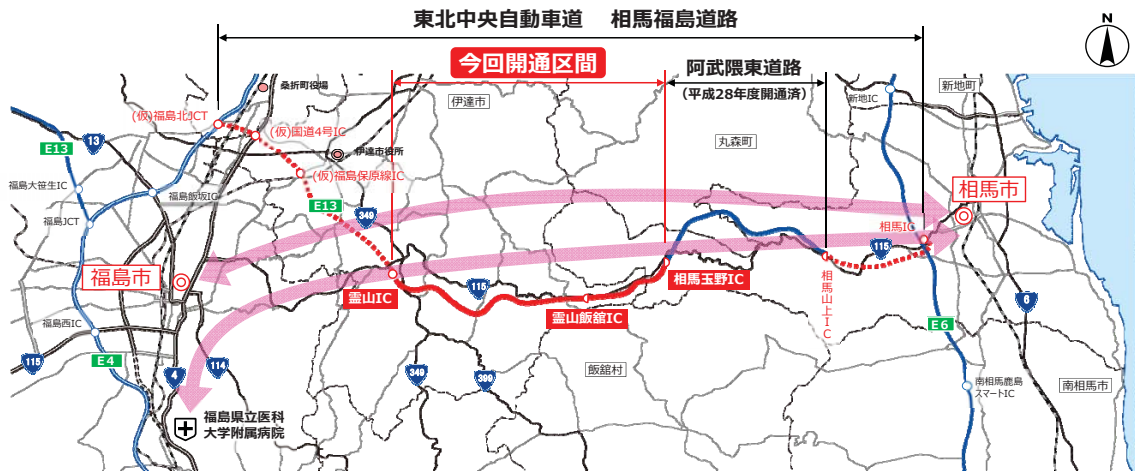
④ 記念撮影



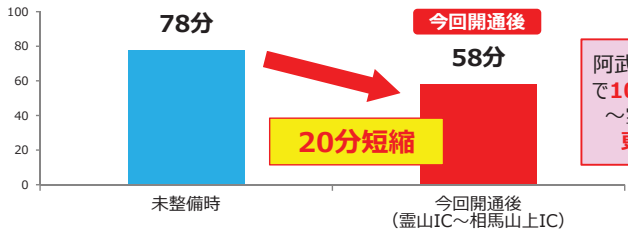
－相馬～福島間の所要時間が短縮－

別紙3

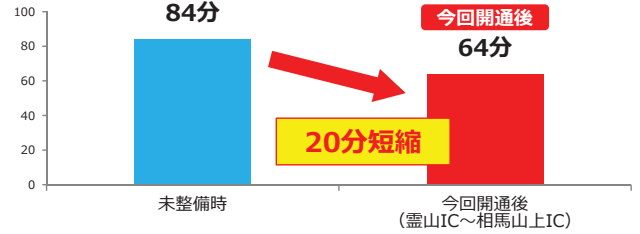
- ◆相馬福島道路（相馬玉野IC～霊山IC）の開通により、相馬市～福島市間の所要時間は未整備時より20分短縮
- ◆救急搬送の速達性確保のほか、観光交流・企業活動の活性化を支援



▼相馬市役所⇄福島市役所の所要時間の変化



▼相馬市役所⇄福島県立医大病院の所要時間の変化

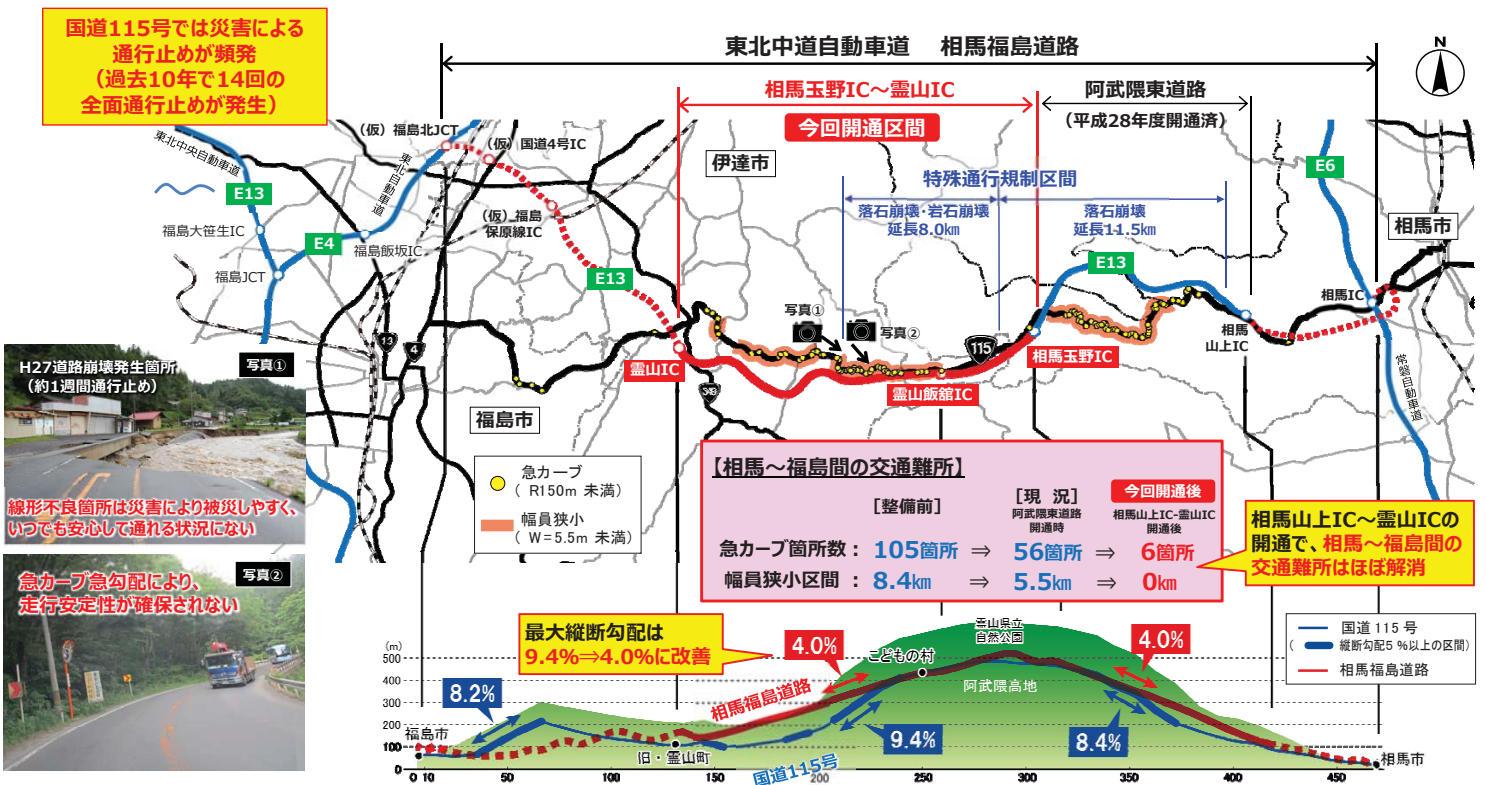


※国道115号・相馬福島道路経由 ※相馬福島道路の区間は70km/hで貫出

出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査

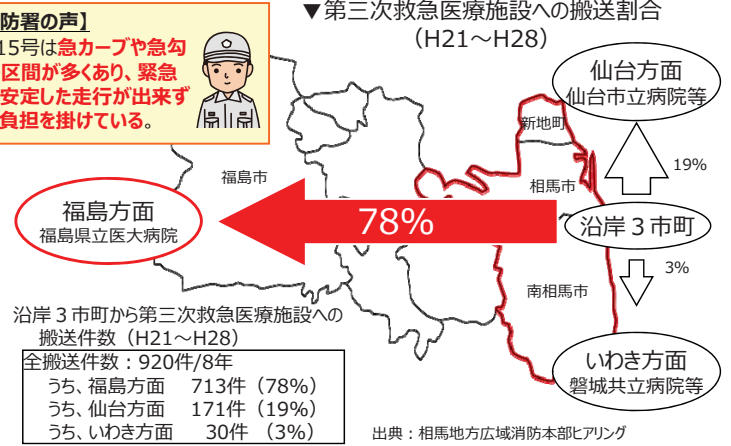
効果1：相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

- ◆相馬～福島間を結ぶ国道115号は、急カーブや急勾配区間が連続し、災害等で通行止めが頻発
- ◆相馬玉野IC～霊山ICの開通により、急カーブや急勾配、事前通行規制区間等の交通難所はほぼ回避できるようになり、相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

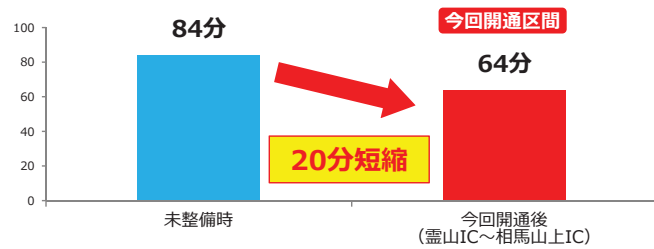


効果2：救急搬送の速達性・安定性を確保

- ◆相馬市等の沿岸部は、第三次救急医療施設がないため、福島市にある福島県立医大病院へ約8割が搬送
- ◆国道115号は線形不良箇所が多く、消防署からは搬送時の患者への負担が大きい等の課題を指摘
- ◆相馬玉野IC～霊山ICの開通により、相馬市役所～福島県立医大病院間の所要時間は未整備時より20分短縮されるとともに、安定走行が可能となり、搬送時の患者への負担が軽減



▼相馬市⇄福島県立医大病院間（国道115号・相馬福島道路経由）の所要時間



※所要時間は相馬市役所～福島県立医大病院間で算出
相馬福島道路の区間は70km/hで算出

出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査



【霊山IC～霊山飯館IC並行区間】



【相馬玉野IC～相馬山上IC間】

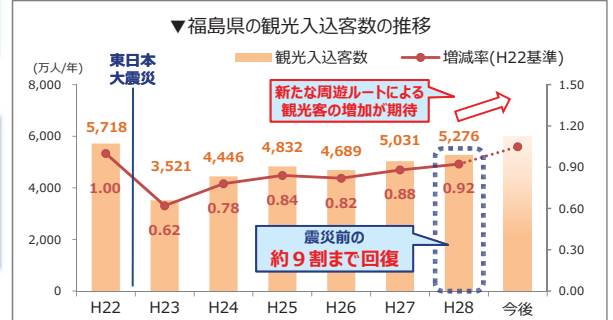
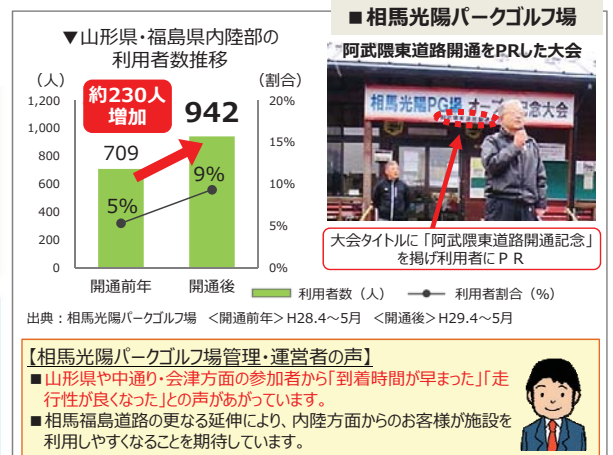
効果3：広域的な観光周遊を支援

- ◆阿武隈東道路開通後、相馬市内の観光施設では山形県・福島県内陸部からの来訪者が増加
- ◆相馬福島道路が全線開通すれば、相馬～福島間の所要時間は約40分短縮されるとともに、相馬市を經由する広域的な観光周遊が可能となり、震災で落ち込んだ福島県の観光入込客の回復に期待

▼相馬福島道路開通に伴う広域的な観光周遊ルートの形成イメージ

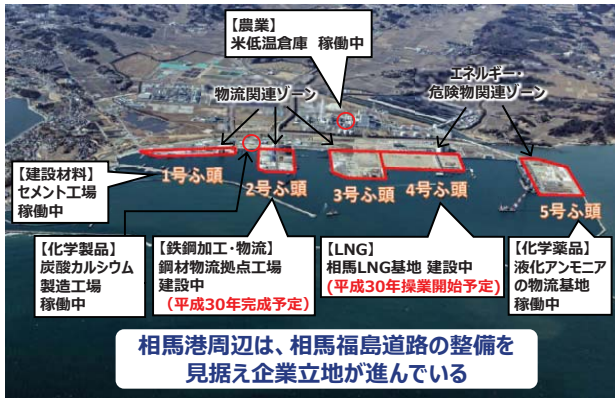


出典（観光入込客数）福島県観光客入込状況調査(H28)、宮城県観光統計概要(H28)
(所要時間) H27年全国道路・街路交通情勢調査、相馬福島道路の区間は80km/hで算出



効果4：物流効率化で企業活動を支援

- ◆相馬港周辺は、相馬福島道路の整備を見据え企業立地が促進
- ◆国道115号の連続した線形不良区間を走行する際は、常に荷崩れや横転等の危険性が高く、ドライバーの精神的な負担が増大
- ◆相馬福島道路は、中通り地方と浜通り地方との物流を支える大動脈として機能し、走行性の向上や時間短縮による物流効率化により企業活動を支援



出典：福島県相馬港湾建設事務所



【化学薬品製造会社の声】



- 炭酸カルシウムは急カーブ・急勾配が続くと重さが偏り横転する危険性があります。
- 現在、輸送ルートは主に国道115号を利用しており、急カーブ箇所も多いため常に細心の注意を払って輸送しております。
- 相馬福島道路が開通すれば、輸送時に横転する危険がなくなる他、輸送頻度・出荷量の増加に繋がることも期待できます。

【農産物取扱流通会社の声】



- 沖縄県への米の出荷量は、年間約4,000tあり、沖縄県向けの米の約8割は会津・中通り地方から国道115号や相馬福島道路を通過して、相馬港まで輸送されます。
- 相馬福島道路が全線開通すると、会津地方、中通り地方から相馬港への輸送負担が軽減されます。
- 道路整備による時間短縮、走行経費削減にも大いに期待しています。

【相馬港進出の鋼材販売会社の声】



- 山形や秋田の日本海側への需要拡大が見込まれ、東北各地へ高速道路を利用したアクセスが優れることから相馬港に進出しました。
- 相馬福島道路が全線開通すれば、物流面での効率化が格段に向上します。

参考

－ 東北地方の広域的な道路ネットワークが形成 －

- 東北中央道の開通により、広域的な通行経路の選択が可能となり、悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保
- 相馬IC～横手JCT間における所要時間は約100分（約3割）短縮

